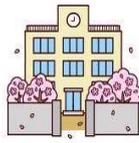


よつば通信



令和2年6月19日
魚津市立よつば小学校
6月号

URL www.yotsuba-e.tym.ed.jp

新しい学校生活で、自分の健康は自分で守る子供に！

校長 水橋 渉

2か月半あまりの学校休業を行い、学校を再開して3週間が過ぎようとしています。今、子供たちは、休業前とずいぶん違う、新しい生活の仕方です。その一部を紹介します。

休業前 → 現在

- 【時間割】(例)1年生は毎日45分間の授業を5限まで → 毎日40分間の授業を6限まで
- 【給食】 楽しい給食 → 机を離し、前を向き、しゃべらずにひたすら食す。
- 【音楽】 音楽室で歌唱や器楽演奏、鑑賞 → 教室で行い、通常の歌唱や器楽演奏はしない。
- 【理科】 理科室で子供が実験 → 教室で教員の行う実験を見る。
- 【体育】 (例)バスケットボールの試合 → 体同士の密着を防ぐため試合をしない。
- 【授業一般】 グループ学習やペア学習 → 机を離し、子供たち全員が前を見ての授業。
- 【挨拶】 元気な(大きな声)さわやかな挨拶 → 普通の声でさわやかな挨拶
- 【施設】 1階の窓や戸は閉め切る。 → 1階の窓や戸は、開けて換気をする。

新しい学校生活で求められていることは、新しい生活様式(人との距離、3密をなくす、マスクの着用、手洗いの励行)の他に、上記のような授業時数の確保と飛沫感染の防止対策です。どれもこれまでと違って真逆的です。制限が多く、子供たちにとってストレスとならないよう、休み時間をしっかり確保し、下校時刻を変えない校時で運行しています。

今、一番嬉しいことは、新しい生活様式の中で、子供たちが**マスクの着用と手洗いの励行**に、ほぼ100パーセント近くの割合で取り組んでいることです。言われたことやみんなで行っていることは必ずやり遂げる、ここによつば小児童の素直さとまじめさが見て取れます。しかし、現在、本校において課題が2つあります。1つ目は、**人と距離(ソーシャルディスタンス)を取る**ことです。本来、人は集団で生活します。他人と密着し、他人と関わることが優しさや思いやりといった心を育むと同時に、社会に必要なコミュニケーション力を高めます。これまで、子供たちにとって、人と距離を取る行為は、絶対やってはいけないことであり、いじめにつながることでした。ところが、今学校では、子供同士の距離が近くなると「ソーシャルディスタンス」「はなれようね」と声をかけなければならない状況となっています。人との適度な距離を保つ習慣をいかに身に付けさせるかに力を入れていますので、ご家庭でも声かけをお願いします。

2つ目は、マスクの着用です。先ほどの一番嬉しいことの1つです。しかし、これからは、登下校、特に下校時に**マスクを着用**するのではなく、自分で考えて、**マスクを着脱**することが大切になります。また、状況に応じて水分補給が必要となります。今後、夏が近づくとつれ、気温が高くなり熱中症対策が必要です。マスクを着けているとき、人との距離があればマスクをはずす、人との距離が近くなれば、マスクを着けるといった、自分の状況を的確に把握し、それに合った行動をとることが必要です。学校では、今後、下校時の距離の取り方やマスクの着脱等を指導します。

子供たちは、コロナ対策を通して自分の健康は、自分で守るといった衛生観念を育むと同時に、今後、未来で求められる「起きていることをしっかり捉え、どのようにするか適切に判断し、それに見合った行動をする」といった、自己理解・自己管理能力や課題対応能力を身に付けていると感じています。子供たちの健康を守るためにもご家庭のご理解とご協力をお願いします。

【学校行事の中止・縮小について】

令和2年5月11日付け「学校行事(1学期)の中止及び変更等について(お知らせ)」で案内しましたが、学びの保障としての授業時数の確保と新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、これまで実施してきた行事を以下のようにします。今後の状況により、他の行事も変更することがあります。ご理解よろしくをお願いします。

《中止》 水泳学習、夏季休業中のプール開放

《縮小》 運動会